

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)					担当教員	高橋 哲郎 (タカハシ テツロウ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	協同学習型 AL/課題解決型 AL /外部講師招聘科目
	2025-0-41-061	ゼミナール 科目	必修	2単位	4年次	通年		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	協同学習型 AL/課題解決型 AL /外部講師招聘科目
	2425-0-41-006	ゼミナール 科目	必修	2単位	4年次	通年		

① 授業のねらい・概要
<p>長岡市には、例えば食料品・機械器具・金属製品・繊維など、他地域に誇れる産業・企業が存在している。しかし、PR不足を主因に、認知度が低い産業・企業も少なくない。その結果、市内企業に就職する学生も限定的である。そこで、長岡市の優れた産業・企業の認知度を高める活動を行う。</p> <p>まず、統計資料・HP等を参考に、長岡市の産業とその特徴、代表的な企業とその企業の強み、ビジネスモデル等の知識を得る。次に、積極的に企業見学・ヒアリングを行い、現場を見る・聞く・考えることで、産業・企業への理解を深める。その後、それまでの活動内容を基に、産業・企業の誇れる点、すなわち「強み」を探し出し、そのPR手法を検討・実行する。加えて、企業経営・ビジネスモデルに関する知識の深化と実践を目的として、ビジネスプランを自ら構築する演習・発表等を行い、その成果をビジネスコンテスト・起業関連コンテストへ応募することを推奨する。</p> <p>長岡市の産業・企業の知識習得、「強み」発見、「見える化」の過程を通して、社会人基礎力を高めていく。また、「5つの力」(聴く力・話す力・書く力・考える力・時間力)を鍛え、就職活動に資する力、社会人に必要な基本スキルを高める。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
1 地域社会に貢献する姿勢/2 職業人として通用する能力/3 専門的知識・技能を活用する能力/4 コミュニケーション能力/5 情報収集・分析力を養う
③ 授業の進め方・指示事項
<p>正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。</p> <p>学生の意見を取り入れつつ講義を進める。積極的な意見表明を期待する。</p>
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「地域活性化論」、「起業家塾」の受講を推奨する。
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
テキスト指定なし。必要に応じて授業時に資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
<p>須田寛 (2015)『産業観光—ものづくりの観光』交通新聞社</p> <p>その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。</p>
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
学生の理解度・適性を確認しながら、運営していく。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
<p>(i) オープンファクトリーを理解・説明することができる。</p> <p>(ii) 成果発表会に向けた発表資料を作成し、プレゼンテーションを実施することができる。</p> <p>(iii) 活動報告書を作成することができる。</p>

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) オープンファクトリーの理解・説明	新たな手法を用いて、論理展開に必要な調査を実施することができる	自発的に、論理展開に必要な調査を実施することができる	論理展開に必要な調査を実施することができる	指示された範囲で、論理展開に必要な調査を実施することができる	指示された範囲の、論理展開に必要な調査が不十分である
(ii) プレゼンテーションの実施	聴衆を引きつけるプレゼンテーションができる	聴衆に正確に理解されるプレゼンテーションができる	聴衆に理解されるプレゼンテーションができる	聴衆にプレゼンテーションの内容がほとんど理解されない	聴衆にプレゼンテーションの内容が理解されない
(iii) 報告書の作成	他人を引きつける報告書を作成することができる	論理が通った報告書を作成することができる	報告書を作成することができるが、一部不足する点がある	報告書を作成することができるが、不足する点がある	報告書を作成することができない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			30%	30%	10%	30%	100%
(i) オープンファクトリーの理解・説明			10%	10%	3%	10%	33%
(ii) プレゼンテーションの実施			10%	10%	4%	10%	34%
(iii) 報告書の作成			10%	10%	3%	10%	33%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方等について、具体的に説明するので、出席すること。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	ゼミⅣの概要説明 自己紹介	昨年の取組確認	180分
2	今年の活動内容決定 工場見学準備	ヒアリング先調査、質問検討	180分
3	工場見学①（予定）長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	180分
4	工場見学振り返り きものGOTTAKU視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	180分
5	きものGOTTAKU視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	180分
6	きものGOTTAKU振り返り	ヒアリングシート作成	180分
7	工場見学準備	発表準備	180分
8	製造業へのアンケート調査	ヒアリング先調査、質問検討	180分
9	工場見学②（予定）長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	180分
10	工場見学振り返り 悠久祭出店検討	悠久祭出店準備	180分
11	工場見学準備	ヒアリング先調査、質問検討	180分
12	工場見学③（予定）長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	180分
13	工場見学準備 工場見学振り返り	ヒアリング先調査、質問検討	180分
14	工場見学④（予定）長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	180分
15	工場見学振り返り ビジネスプランの作成	ヒアリングシート作成	180分
16	後期の活動内容確認 「工場の祭典」視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	180分
17	「工場の祭典」視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	180分
18	悠久祭準備 製造業へのアンケート調査	悠久祭準備 アンケート票作成	180分
19	悠久祭準備 製造業へのアンケート調査	悠久祭準備 アンケート票作成	180分
20	悠久祭準備 製造業へのアンケート調査	悠久祭準備 アンケート票作成	180分
21	発表会準備（パワポ作成）	発表用パワーポイント作成	180分
22	発表会準備（パワポ作成）	発表用パワーポイント作成	180分
23	発表会準備（発表練習）	発表用パワーポイント作成	180分
24	中間レビュー	発表練習	180分
25	発表会準備（発表練習）	発表練習	180分
26	報告書作成	報告書作成	180分

27	報告書作成	報告書作成	180分
28	報告書作成	報告書作成	180分
29	報告書作成	報告書作成	180分
30	報告書作成	報告書作成	180分

⑫ アクティブラーニングについて			
協同学習型 AL・課題解決型 AL を採用する。 資料調査・企業ヒアリングを基にした発表・ディスカッション等を通じて、学生自ら産業・企業の強み・課題を探求し、製造業の「見える化」案を構築する。 また、ビジネスプランの作成、ブラッシュアップ、ビジネスコンテストへの参加により、ビジネスモデルの知識の実践を目指す。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
実務経験と授業科目との関連性			